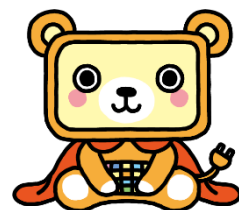




さんか 参加のしおり

ぶもん
～プレゼンテーション部門～



ことし
今年のテーマは「SDGs」です。SDGsとは日本だけではなく、
せかいじゅう
世界中のどこにでもあるいろいろな問題と、それを2030年までに解決し
たいというかんがえのことです。ワークシートと一緒にこの参加のしお
りをつか
を使って、SDGsにあったじぶん
自分だけのテーマを決めましょう！

目次

- ① さくひん
作品をつくる時のルール
- ② ちょさくけん しょうぞうけん
著作権・肖像権のルール
- ③ しら
調べてみよう
- ④ さくひん
作品をつくってみよう
- ⑤ れんしゅう
プレゼンテーション練習について

① 作品をつくるときのルール

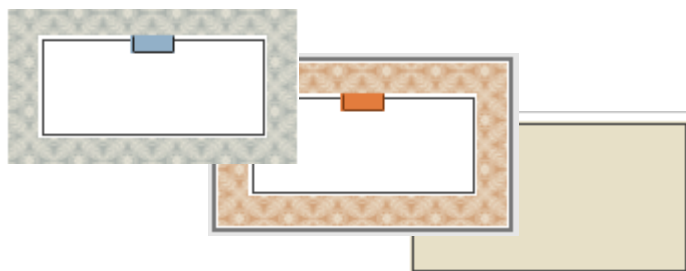
作品をつくる時にはルールがあります。次のルールを必ず守りましょう。

スライドの大きさ



標準サイズでもワイド画面サイズでもOKです。
PowerPoint2010以前・・起動時は標準サイズ
PowerPoint2013以降・・起動時はワイドサイズ
※ワイド画面を使用する場合は、
縦(高さ)19cm、横(幅)33cmに設定しましょう。

スライドの枚数



スライド枚数は何枚でも大丈夫ですが、発表の
制限時間は3分ですので、制限時間内に発表でき
るように枚数設定をしましょう。

フォルダ名

ファイル名



「学年(全角)+氏名」
※「+」部分のスペースは不要
・生徒スライドは
「生徒+学年(全角)+氏名」
・学年表記※数字は必ず全角で！
小学生>小〇

1枚目のスライド



必ず入れましょう！(レイアウトは自由)

- ・タイトル
- ・教室名
- ・氏名
- ・学年(4月からの学年)

ファイル形式



pptx形式

> (PowerPoint2007、2010、2013、
2016、2019)

ファイル容量



1ファイルあたり20MBまでです。

提出するときに

ファイル > 情報

からサイズを確認しましょう。

容量オーバーの時は画像や動画の
サイズを小さくしましょう。

おと そうにゅう ばあ い 音を挿入する場合

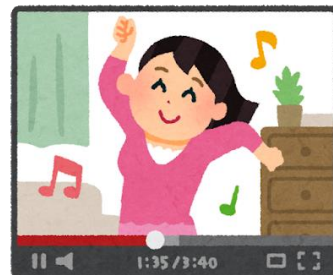


<挿入できる形式>

wav. mp3. mp4. wma.
mid.(.midi)

※使用した音源・素材は、提出する時
必ずスライドと一緒に提出してください。

どうが そうにゅう ばあ い 動画を挿入する場合



<挿入できる形式>

mpeg.(mpg)
wmv. mp4.(mov,m4v)

※使用した動画・素材は、提出する時
必ずスライドと一緒に提出してください。

ちよ さく けん しやうぞう けん 著作権・肖像権



・「著作権、肖像権のルール」を守
って著作権や肖像権を侵害しない
ように注意しましょう。

ルールは必ず守ろうね！
作品を作る時に分からない
ことがあったら積極的に
先生に質問してみよう！



② 著作権・肖像権のルール



著作権とは・・・

みなさんがこれから作品を作ろうとしているのと同じで、自分の考えや気持ちを作品にしたものを「著作物」といいます。誰かが一生懸命つくった大切な「著作物」を他の人に勝手に使われないよう、つくった人の努力を守るための権利（ルール）のことを「著作権」といいます。



肖像権とは・・・

自分の顔がうつった写真が、勝手にインターネットにあげられているのは、いい気持ちがしませんよね。自分だけではなく、有名なキャラクターや芸能人など、勝手に写真を使ってはいけないという決まりがあります。これを肖像権といいます。

自由につかっていいもの：写真・イラストの場合

① 自分を撮影した写真

② 自分で作成したオリジナルのイラスト

③ Pixabay（ピクサベイ） <http://pixabay.com/>

※ 検索した時に一番上に出てくる“スポンサー画像”は使用できません。

④ いらすとや <http://www.irasutoya.com/>

⑤ PAKUTASO（ぱくたそ） <https://www.pakutaso.com/index.html>

⑥ フリー写真素材 Futta.NET <http://www.futta.net/>

⑦ ウィキペディア

※ 使える画像、使えない画像があるので、必ず次のページの注意点を読みましょう。

自由につかっていいもの：音楽の場合

① MusMus（ムスマス） <http://musmus.main.jp/howto.html#download>

※ 注意点が次のページに書いてあるので、必ず読みましょう。

② SHW（Iヲ Iチ タブリ） <http://shw.in/sozai/>

③ Music-Note.jp（ミュージックノート） <http://www.music-note.jp/>

④ DOVA-SYNDROME（デューバ-シンドローム） <https://dova-s.jp/>

じゅう 自由につかえないもの

- ① 作者・撮影者の許可がない絵・写真
- ② 作者・撮影者の許可なしで作成者の名前を公開すること
- ③ 作者・撮影者の許可なしで作品を変更・アレンジ・似せること
- ④ 写真に写っている人の許可なく写真を公開すること

ちゅういてん 注意点

- ① MusMus の素材(BGM・効果音)を使う時は、必ず下記のクレジット表記をしてください。

BGM : MusMus もしくは **フリーBGM・音楽素材MusMus** <http://musmus.main.jp/>

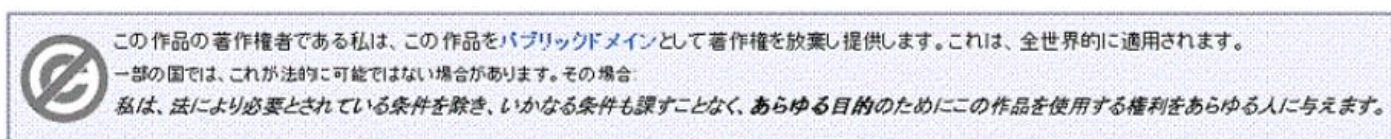
※クレジット表記がないと料金を支払わないといけないので、ご注意ください。

- ② P3 に書いてあるサイトは基本的にはプレゼンテーションに使用して大丈夫ですが、使用する前に必ず先生に許可をもらってからダウンロードしましょう。

- ③ Wikipedia の画像について

ウィキペディア内で検索した画像 > 詳細ボタン > 移動先の詳細ページ

⇒下記表記がある場合は、使用可能ですが、必ずウィキメディア・コモンズの表記が必要です。



下記マークは表示されている画像は、**出典：ウィキメディア・コモンズ** 作者：○○ 作品タイトル：○○のクレジットを表記しなければなりません。



下記マークが表示されている画像は、使用不可です。



よく分からないときは..

- ① インターネットで「著作権」「肖像権」について検索してみよう！
> YouTube で調べてみると、動画になっているから分かりやすいです。
- ② 先生やお家の人に教えてもらおう！
- ③ 図書館や図書室に行く機会があったら、著作権や肖像権についての本を探してみよう！

③ しら 調べてみよう

「ワークシート」を使いながら、テーマについて調べ、自分が周りの人に知ってほしいこと・伝えたいことがないか考えてみましょう。

テーマについて知るための方法は、とてもたくさんあります。下の例を参考にしながら、どんな風に発表したいか、周りの人に伝えたいか、考えながら調べてみましょう。



じょうほう ほうほう 情報あつめの方法

- ① インターネット
- ② 本や新聞
- ③ 詳しい人から教えてもらう（インタビュー）
- ④ 写真や動画を自分で撮る
- ⑤ 録音をする



じょうほう せんたく 情報の選択

色々な方法でたくさんの方のことを調べると、調べた情報の内容が違ってくることがあります。特に、インターネットは誰もが書きたいことを書いて人々に見せることができるので、時には間違ったことを書いてある記事もあります。

- ・ どの情報が正しいのか
- ・ 必要な情報はどれか

この2点に注意して、すべての情報を正しい情報だと思わないように気を付けましょう。

ただ正しい情報が悩んだときは、
作品に使う前に
先生に必ず確認しよう！



④ さくひん 作品をつくってみよう

よ しりょう 読む資料ではなく見る資料

審査員や周りの人に伝えるために、説明文をたくさん書きたくなるかもしれませんが、PowerPoint だけで伝えようとするのではなく、スライドとプレゼンテーション両方で伝えられるようにしましょう。

下の画像のように、文字をたくさん書くよりも、スライドを見た人に特に伝えたいことだけを書いたり、文字の代わりにイラストや図形で伝えられると分かりやすくなります。

チャレンジしたいこと

わたしがチャレンジしたいことは、なわとびです！

理由は、まだにじゅうとびができなくて、なわとび名人になれていないからです。わたしの友達ほとんどの人にじゅうとびができています。わたしもまけないようにがんばりたいと思ったからです！


できるようになるためにすること

まずは、友達ととんでいるときにどんなことに気を付けているか、どんなことを考えているか、インタビューをしてみたいと思います。
あとは、インターネットでにじゅうとびのコツについて調べて、まいにち学校から帰ってからたくさんしゅうとびをしたいと思っています。

➡


チャレンジしたいこと

にじゅうとび




できるようになるために

できる友達にインタビュー




インターネットでコツを調べる



し か く ちょうかく つか 視覚と聴覚をうまく使う

良いプレゼンテーションと言われる理由の一つは、「自分が言いたいことを言う」のではなく、「相手に自分の気持ちを伝える」ことです。

審査員や周りの人の印象に残るようにするには、「視覚」と「聴覚」の両方を上手に使い分けることが大切です。

し か く れい 視覚の例	ちょうかく れい 聴覚の例
<ul style="list-style-type: none"> ・ フォント ・ 色の使い方 ・ アニメーション ・ グラフや図の効果 ・ ジェスチャー 	<ul style="list-style-type: none"> ・ BGM ・ 効果音 ・ 話し方 



プレゼンテーションレベルアップ！のテキストを参考にしてみよう！



⑤ プレゼンテーション練習について

スライド作成とあわせて考える

「スライド作成」と「発表」を別々で考えないようにしましょう。スライド作成をしてから発表内容を考えるのではなく、発表内容のことを考えながらスライド作成をしましょう。

ここを強調したいから、
図形とフォントを
工夫してみようかな。

3分以内に話さないといけ
ないから、
スライドの枚数に
気を付けよう。



ちゅういてん 注意点

作品のエントリー期限が過ぎてしまうと、発表の時に
使うスライドを変更することができないから、気を付
けようね！



スライド作成が終わったら、発表練習がすぐにできるように、それぞれのスライドページで何を話すか、何を伝えたいかをまとめましょう。

今年の子どもみらいグランプリは、動画を撮影して審査されるので、カメラ目線でしっかり話せるように、ずっと紙をみるのではなく、前を見て発表できるくらい、たくさん練習してみよう！

YouTuberみたいにカメラ目線で話すと、
動画をみている人が自分に話してくれているように
感じられるから、自分の気持ちが伝わりやすくなっ
ていいよね！

